

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ラフィーネ城陽	階数	15階
建設地	京都府城陽市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	277 人
気候区分	IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年1月 予定	評価の実施日	2011年8月10日
敷地面積	1,546 m ²	作成者	西岡
建築面積	929 m ²	確認日	2011年8月10日
延床面積	7,257 m ²	確認者	〇〇〇

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	91%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.0
温熱環境	2.7
光・視環境	3.0
空気環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.8
耐用性	3.0
対応性	3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

建物の	3.0
自然エネ	2.5
設備システ	4.5
A. 効率的	N.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.3
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
首都連絡アクセス良いJR城陽駅前に集合住宅を建設する	無し
Q1 室内環境 温熱環境良好とする南面に開口部を設ける	Q2 サービス性能 高度情報通信の強化
Q3 室外環境 (敷地内) 地域のまちなみガイドラインに基づく取り組み	
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1省エネルギー対策等級」3を目標	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用、受水槽の設置
	LR3 敷地外環境 風下地域への風道に考慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される